

「山の日」の認知は7割以上  
今年のお盆休みは5人に1人が「お墓参り」をする

- 山の日とお盆休みに関する調査 -

URL: <http://research.rakuten.co.jp/report/20160630/>

楽天リサーチ株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：田村 篤司、以下「楽天リサーチ」）は、「山の日とお盆休みに関する調査」をインターネットで実施しました。今回の調査は、2016年6月17日（金）から18日（土）の2日間、楽天リサーチに登録しているモニター（約230万人）の中から、全国の20代から60代の男女1,000人を対象に行いました。

---

■□ 調査結果概要 □■

---

**■今年から新設された祝日「山の日」の認知は7割以上。しかし「山の日」に山に行きたい人は1割未満**

今年から新設された「山の日」という祝日の存在を知っているか聞いたところ、「名前だけは聞いたことがある（43.7%）」が最も多く、続いて「正確な日付を知っている（30.1%）」ことが判明し、7割以上（73.8%）が今年から「山の日」が新設されることを知っているという結果となった。

認知度が高い「山の日」だが、この祝日ができることがうれしいかという質問には、約半数が「どちらでもない（48.6%）」と回答し、「とてもうれしい・うれしい」の合計が36.6%に対し、「あまりうれしくない・うれしくない」の合計は14.8%とうれしいと感じている人の方が多い結果となった。

「山の日」に実際に山に行きたいかを聞いたところでは、「行きたくない（49.4%）」が約半数で、「行きたい（8.9%）」に40.5ポイントの差をつける結果となった。「山の日」にちなんで、山に行きたいという意識の人はまだ1割にも満たない結果となった。また、性別で見たとところでは、「行きたい」が男性（12.0%）、女性（5.8%）と、男性の方が約2倍の差をつけて高く、年代別では20代（13.4%）、30代（13.1%）が他の年代と比較してやや高くなっていた。

**■今年のお盆休みの予定は「自宅で過ごす」がトップ。5人に1人が「お墓参り」をする予定**

今年のお盆休みの予定について聞いたところ、「自宅で過ごす（32.6%）」人の割合が最も高かった。外出予定では、「お墓参り（20.2%）」、「帰省（15.6%）」の順に高く、5人に1人がお盆にお墓参りをするということが分かった。年代別に見ると、「お墓参り」は60代が他の年代と比較して高く（60代：30.9%、他の年代の平均：17.3%）、また「自宅で過ごす」については年代があ

がるにつれ、高くなっていく結果となった（20代：22.9%、30代：26.1%、40代：27.5%、50代：37.0%、60代：46.6%）。

また、「山の日」が新設されたことによりお盆休みの予定に何か影響があるかを聞いたところ、6割以上が「影響がない（65.9%）」と回答し、休日が1日増えたことで予定に影響がない人が多いことが分かった。

### ■お墓参りをする理由は「先祖の供養のため」。過去1年で1回以上お墓参りをした人は約7割

お盆休みに「お墓参り」をする予定のある人に、その理由を聞いたところ、「先祖の供養のため（74.3%）」、「毎年恒例のため（61.4%）」、「お墓を掃除するため（42.1%）」という順に高い回答となった。20代の約5人に1人（19.4%）はお墓参りの際に「先祖に何か願い事をする」という結果となった。また、反対にお墓参りをする予定のない人に、お墓参りをしないその理由について聞いたところ、「お盆休み以外にお墓参りをしているから（27.8%）」、「お墓の場所が遠すぎて、行くことができない（13.2%）」、「お墓参りをする習慣がない（12.0%）」という結果になった。

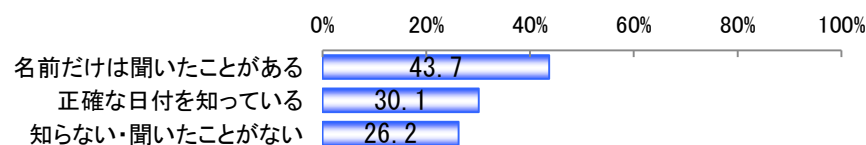
過去1年間でのお墓参りの回数を聞いたところ、「一度もしなかった（24.9%）」が最も高かったが、実施した人の中では「1回（20.8%）」が一番高く、続いて「2回（19.3%）」、「3回（9.8%）」となった。「10回以上」は4.9%となっていた。約7割（68.9%）が過去1年間に1回以上はお墓参りをしたということが明らかとなった。

## ■□ 調査結果 □■

### ■今年から新設された祝日「山の日」の認知は7割以上。しかし「山の日」に山に行きたい人は1割未満

今年から新設された「山の日」という祝日の存在を知っているか聞いたところ、「名前だけは聞いたことがある（43.7%）」が最も多く、続いて「正確な日付を知っている（30.1%）」ことが判明し、7割以上（73.8%）が今年から「山の日」が新設されることを知っているという結果となった。

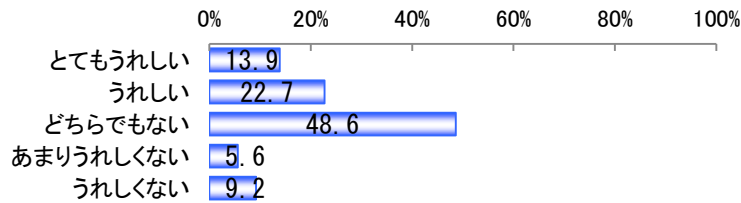
#### ◇今年から新設された「山の日」の認知について（n=1,000） 単位：%



認知度が高い「山の日」だが、この祝日ができたことがうれしいかという質問には、約半数が「ど

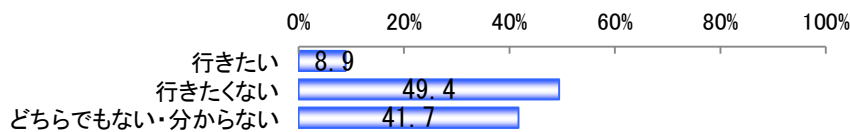
ちらでもない (48.6%)」と回答し、「とてもうれしい・うれしい」の合計が 36.6%に対し、「あまりうれしくない・うれしくない」の合計は 14.8%と「うれしいと感じている人の方が多く結果となった。

◇「山の日」ができてうれしいかどうかについて (n=1,000) 単位：%



「山の日」に実際に山に行きたいかを聞いたところでは、「行きたくない (49.4%)」が約半数で、「行きたい (8.9%)」に 40.5 ポイントの差をつける結果となった。「山の日」にちなんで、山に行きたいという意識の人はまだ 1 割にも満たない結果となった。また、性別で見たところでは、「行きたい」が男性 (12.0%)、女性 (5.8%) と、男性の方が約 2 倍の差をつけて高く、年代別では 20 代 (13.4%)、30 代 (13.1%) が他の年代と比較してやや高くなっていた。

◇「山の日」に実際に山に行きたいかについて (n=1,000) 単位：%

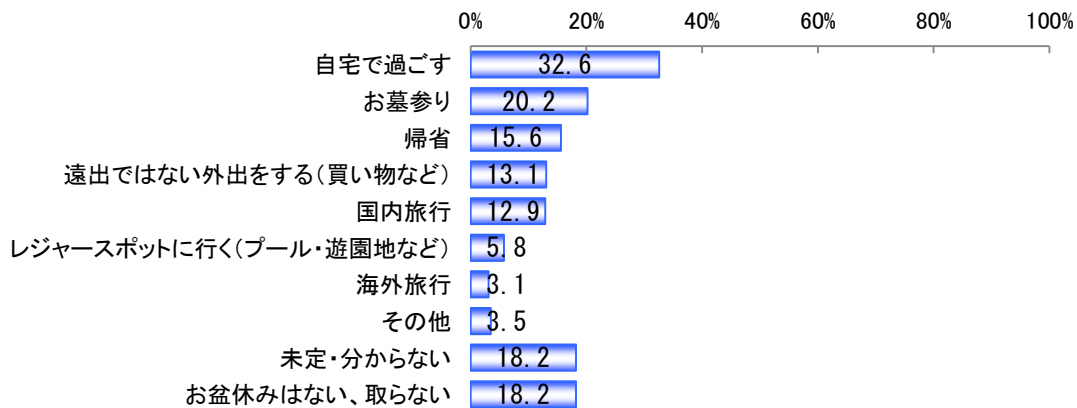


		n	行きたい	行きたくない	どちらでもない・分からない
全体		1000	8.9	49.4	41.7
性別	男性	500	12.0	42.6	45.4
	女性	500	5.8	56.2	38.0
年代	20代	157	13.4	51.0	35.7
	30代	199	13.1	48.2	38.7
	40代	229	7.0	42.8	50.2
	50代	192	4.7	55.7	39.6
	60代	223	7.6	50.7	41.7

■今年のお盆休みの予定は「自宅で過ごす」がトップ。5人に1人が「お墓参り」をする予定

今年のお盆休みの予定について聞いたところ、「自宅で過ごす（32.6%）」人の割合が最も高かった。外出予定では、「お墓参り（20.2%）」、「帰省（15.6%）」の順に高く、5人に1人がお盆にお墓参りをするということが分かった。年代別に見ると、「お墓参り」は60代が他の年代と比較して高く（60代：30.9%、他の年代の平均：17.3%）、また「自宅で過ごす」については年代が上がるにつれ、高くなっていく結果となった（20代：22.9%、30代：26.1%、40代：27.5%、50代：37.0%、60代：46.6%）。

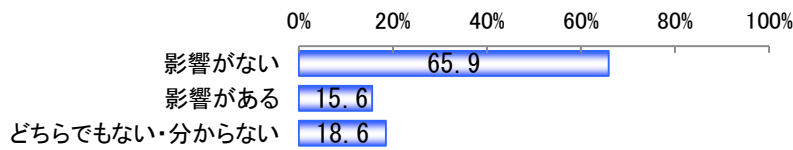
◇今年のお盆休みの予定について（全体）（n=1,000）複数選択 単位：%



		n	自宅で過ごす	お墓参り	帰省	遠出ではない外出をする (買い物など)	国内旅行	レジャースポットに行く (プール・遊園地など)	海外旅行	その他	未定・分からない	お盆休みはない、 取らない
全体		1000	32.6	20.2	15.6	13.1	12.9	5.8	3.1	3.5	18.2	18.2
性別	男性	500	34.2	21.8	17.8	13.8	13.0	6.8	3.2	4.0	15.4	19.0
	女性	500	31.0	18.6	13.4	12.4	12.8	4.8	3.0	3.0	21.0	17.4
年代	20代	157	22.9	19.7	18.5	13.4	20.4	9.6	5.1	4.5	24.2	17.8
	30代	199	26.1	11.1	23.1	14.1	15.1	4.5	4.0	1.5	15.6	21.6
	40代	229	27.5	17.5	19.7	11.8	15.3	6.6	0.9	1.7	16.6	22.7
	50代	192	37.0	20.8	13.0	11.5	8.3	4.7	3.1	5.7	15.1	16.7
	60代	223	46.6	30.9	4.9	14.8	7.2	4.5	3.1	4.5	20.6	12.1

また、「山の日」が新設されたことによりお盆休みの予定に何か影響があるかを聞いたところ、6割以上が「影響がない（65.9%）」と回答し、休日が1日増えたことで予定に影響がない人が多いことが分かった。

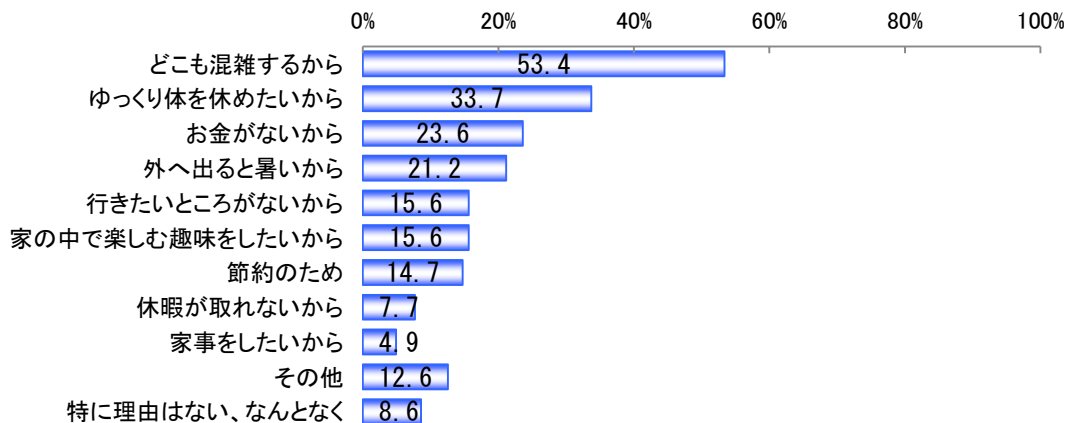
◇お盆の予定が「山の日」が増えたことにより影響があるか (n=636) 単位：%



■お盆休みに外出しない理由は「どこも混雑するから」がトップ

お盆休みの予定で「自宅で過ごす」と回答した人に、外出しない理由について聞いたところ、「どこも混雑するから (53.4%)」、「ゆっくり体を休めたいから (33.7%)」、「お金がないから (23.6%)」という順になった。20代、30代は「お金がないから (20代：36.1%、30代：38.5%)」と「節約のため (20代：27.8%、30代：25.0%)」という経済的理由でお盆休みに外出をしない人が他の年代と比較して高いことが分かった。

◇今年のお盆休みに外出しない予定の理由について (n=326) 複数選択 単位：%

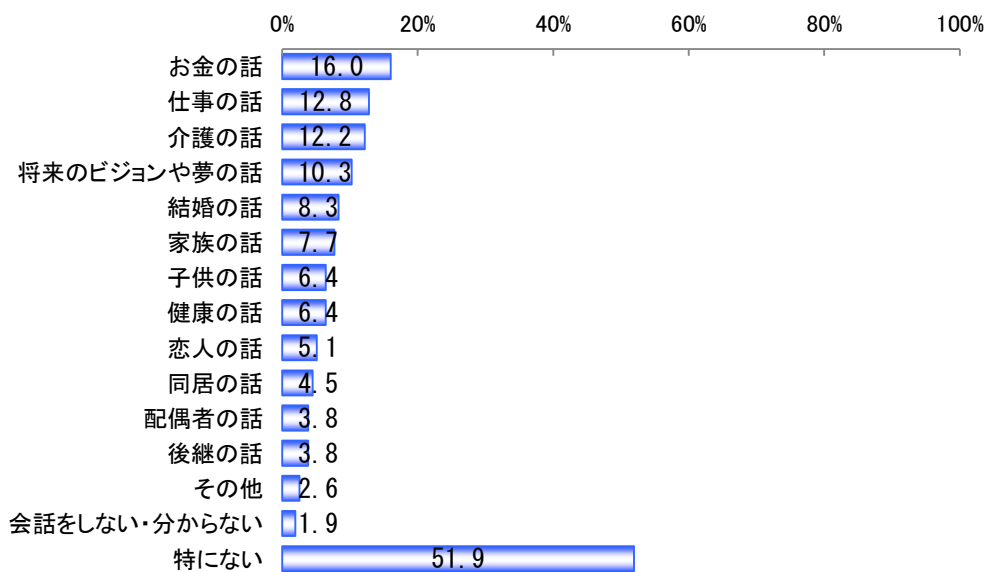


		n	どこも混雑するから	ゆっくり体を休めたいから	お金がないから	外へ出ると暑いから	行きたいところがないから	家の中で楽しむ趣味をしたいから	節約のため	休暇が取れないから	家事をしたいから	その他	特に理由はない、なんとなく
全体		326	53.4	33.7	23.6	21.2	15.6	15.6	14.7	7.7	4.9	12.6	8.6
性別	男性	171	55.0	38.0	26.9	21.1	17.0	17.5	14.6	7.0	2.3	8.2	7.0
	女性	155	51.6	29.0	20.0	21.3	14.2	13.5	14.8	8.4	7.7	17.4	10.3
年代	20代	36	44.4	47.2	36.1	22.2	13.9	19.4	27.8	19.4	11.1	19.4	2.8
	30代	52	51.9	44.2	38.5	26.9	11.5	19.2	25.0	7.7	11.5	7.7	9.6
	40代	63	52.4	41.3	27.0	23.8	22.2	12.7	14.3	7.9	1.6	9.5	7.9
	50代	71	42.3	31.0	19.7	14.1	23.9	14.1	7.0	5.6	2.8	12.7	8.5
	60代	104	65.4	21.2	12.5	21.2	8.7	15.4	10.6	4.8	2.9	14.4	10.6

■帰省した際に家族や親戚に話題にされたくない内容の上位 3 つは「お金」「仕事」「介護」。結婚や恋人の話題を出したくないと最も感じるのは 20 代

お盆休みの予定で「帰省」と回答した人に、帰省した際に親・家族などと話題にしたくない内容を聞いたところ、「お金の話 (16.0%)」が最も高く、「仕事の話 (12.8%)」、「介護の話 (12.2%)」が続いた。「特にない」という回答も 51.9%となった。年代別に見ると、20代は「結婚の話 (20.7%)」、「恋人の話 (17.2%)」が他の年代と比べ 2 倍以上の差をつけ最も高い。

◇帰省した際に家族や親戚などと話題にしたくない内容について (n = 156) 複数選択 単位：%



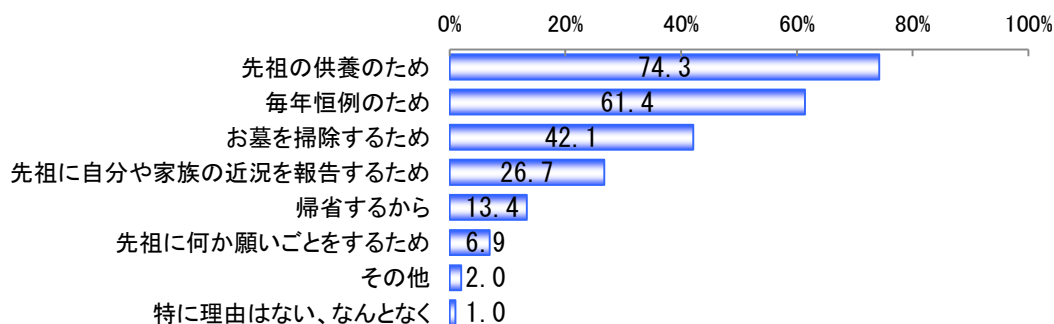
	n	お金の話	仕事の話	介護の話	将来のビジョンや夢の話	結婚の話	家族の話	子供の話	健康の話	恋人の話	同居の話	配偶者の話	後継の話	その他	会話をしない・分からない	特にない	
全体	156	16.0	12.8	12.2	10.3	8.3	7.7	6.4	6.4	5.1	4.5	3.8	3.8	2.6	1.9	51.9	
性別	男性	89	15.7	16.9	12.4	10.1	10.1	7.9	9.0	6.7	2.2	5.6	3.4	2.2	2.2	46.1	
	女性	67	16.4	7.5	11.9	10.4	6.0	4.5	4.5	3.0	7.5	1.5	4.5	3.0	1.5	59.7	
年代	20代	29	24.1	17.2	20.7	17.2	20.7	10.3	10.3	17.2	10.3	3.4	6.9	0.0	3.4	34.5	
	30代	46	19.6	10.9	8.7	15.2	8.7	6.5	10.9	8.7	4.3	6.5	4.3	2.2	2.2	54.3	
	40代	45	13.3	15.6	8.9	4.4	6.7	11.1	4.4	2.2	2.2	0.0	6.7	2.2	4.4	0.0	53.3
	50代	25	12.0	8.0	20.0	4.0	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0	4.0	4.0	4.0	56.0
	60代	11	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	72.7

■お墓参りをする理由は「先祖の供養のため」。過去 1 年で 1 回以上お墓参りをした人は約 7 割

お盆休みに「お墓参り」をする予定のある人に、その理由を聞いたところ、「先祖の供養のため (74.3%)」、「毎年恒例のため (61.4%)」、「お墓を掃除するため (42.1%)」という順に高い回答

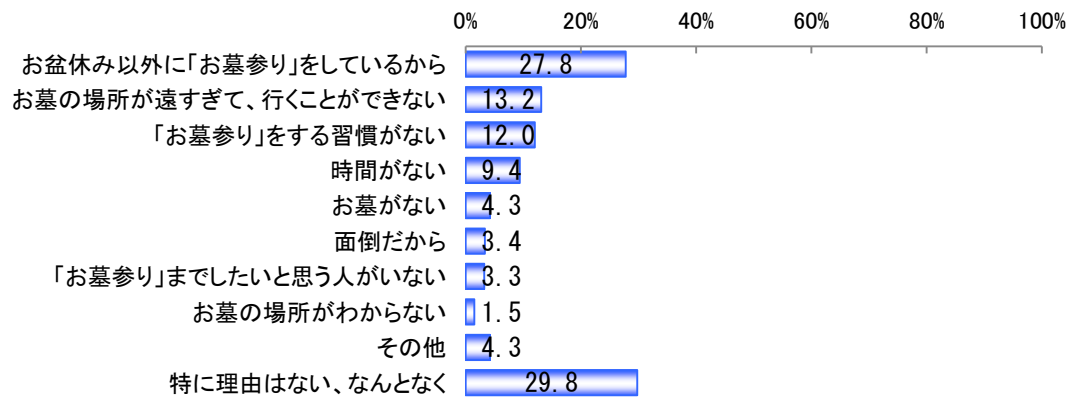
となった。20代の約5人に1人（19.4%）はお墓参りの際に「先祖に何か願い事をする」という結果となった。また、反対にお墓参りをする予定のない人に、お墓参りをしないその理由について聞いたところ、「お盆休み以外にお墓参りをしているから（27.8%）」、「お墓の場所が遠すぎて、行くことができない（13.2%）」、「お墓参りをする習慣がない（12.0%）」という結果になった。

◇お盆休みにお墓参りをする理由について（n=202）複数選択 単位：%



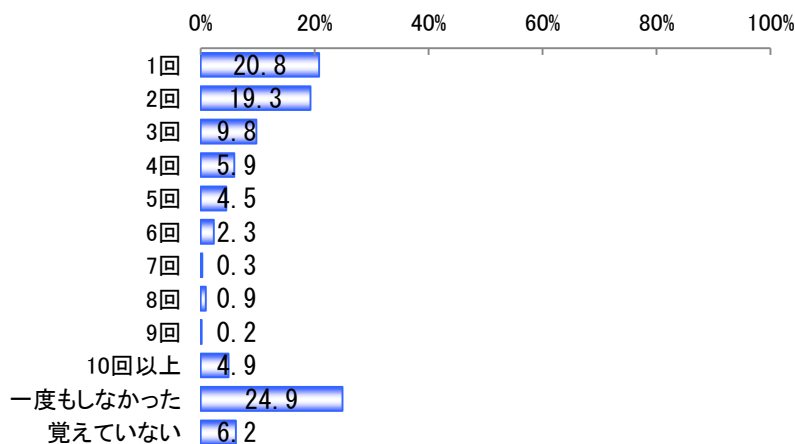
		n	先祖の供養のため	毎年恒例のため	お墓を掃除するため	先祖に自分や家族の近況を報告するため	帰省するから	先祖に何か願いごとをするため	その他	特に理由はない、なんとなく
全体		202	74.3	61.4	42.1	26.7	13.4	6.9	2.0	1.0
性別	男性	109	76.1	60.6	40.4	22.9	13.8	7.3	0.9	0.9
	女性	93	72.0	62.4	44.1	31.2	12.9	6.5	3.2	1.1
年代	20代	31	77.4	45.2	9.7	29.0	19.4	19.4	3.2	3.2
	30代	22	68.2	50.0	36.4	36.4	13.6	0.0	0.0	0.0
	40代	40	80.0	60.0	47.5	30.0	20.0	2.5	0.0	0.0
	50代	40	75.0	65.0	42.5	22.5	12.5	7.5	0.0	0.0
	60代	69	71.0	71.0	55.1	23.2	7.2	5.8	4.3	1.4

◇お盆休みにお墓参りをしない理由について (n=798) 複数選択 単位：%



過去1年間でお墓参りの回数を聞いたところ、「一度もしなかった (24.9%)」が最も高かったが、実施した人の中では「1回 (20.8%)」が一番高く、続いて「2回 (19.3%)」、「3回 (9.8%)」となった。「10回以上」は4.9%となっていた。約7割 (68.9%) が過去1年間に1回以上はお墓参りをしたということが明らかとなった。

◇去年1年間のお墓参りの実施回数について (n=1,000) 単位：%

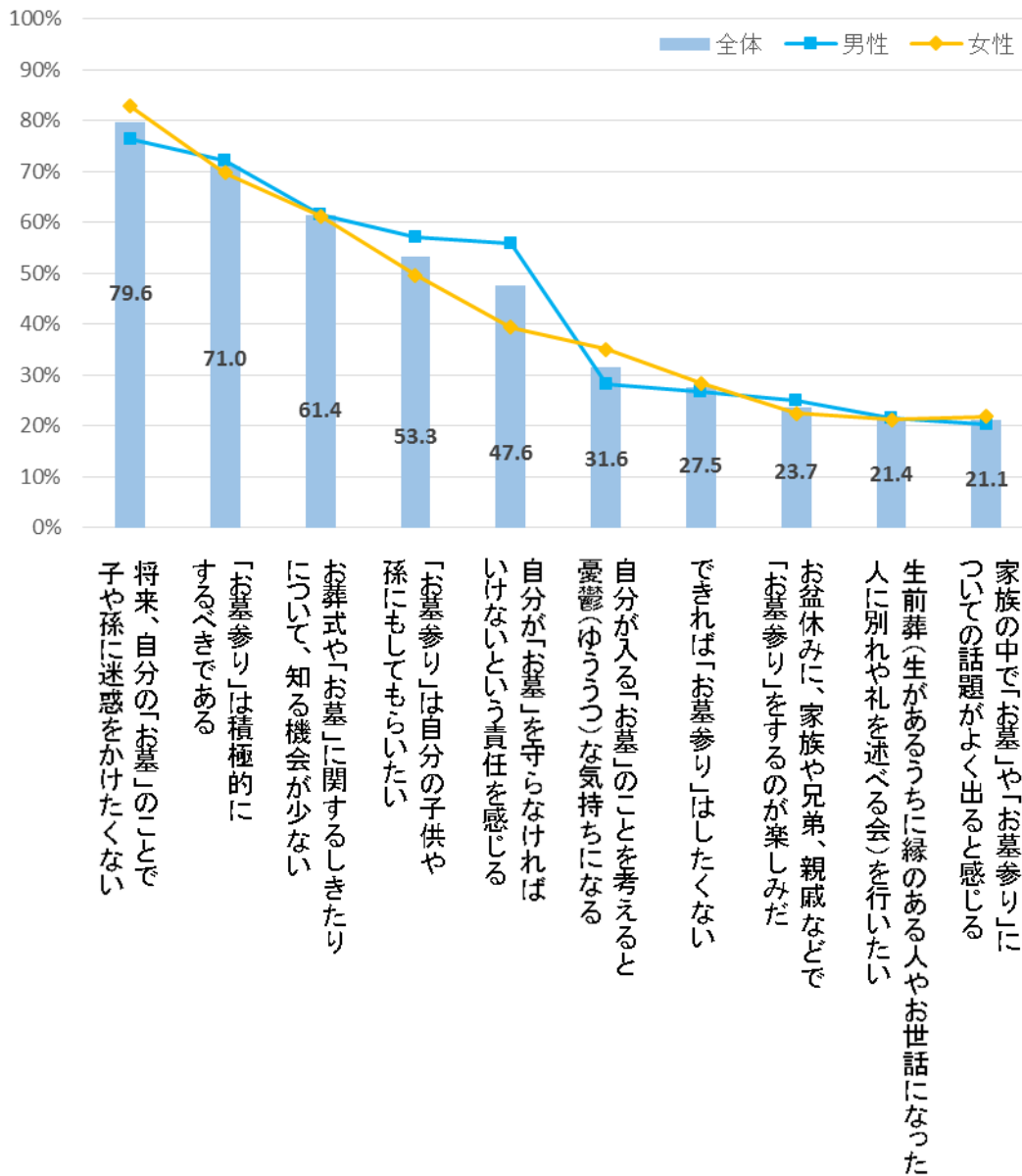


■約8割が「将来、自分のお墓のことで子や孫に迷惑をかけたくない」と考えている

お墓参りに関する意識について、全体では「将来、自分のお墓のことで子や孫に迷惑をかけたくない (79.6%)」、「お墓参りは積極的にすべきである (71.0%)」、「お葬式やお墓に関するしきりについて、知る機会が少ない (61.4%)」という結果となった。男女別にみると、「将来、自分のお墓のことで子や孫に迷惑をかけたくない」、「自分が入るお墓のことを考えると憂鬱な気持ちになる」という項目において、女性の回答が高く、対して「お墓参りは自分の子供や孫にもしてもらいたい」、「自分がお墓を守らなければいけないという責任を感じる」という項目では、男性の回答が高くなっていた。男女間で意識の相違を感じる結果となった。



◇お墓参りに関する意識について (n=1,000) 単位：%



【調査概要】

調査エリア : 全国

調査対象者 : 20歳～69歳 男女

回収サンプル数 : 1,000 サンプル

※総務省統計局「人口推計」2014年10月1日現在人口(2015年4月17日発表)にあわせて集計

調査期間 : 2016年6月17日から18日

調査実施機関 : 楽天リサーチ株式会社

以上